



広報

とうかい

12/15

令和4年
2022年

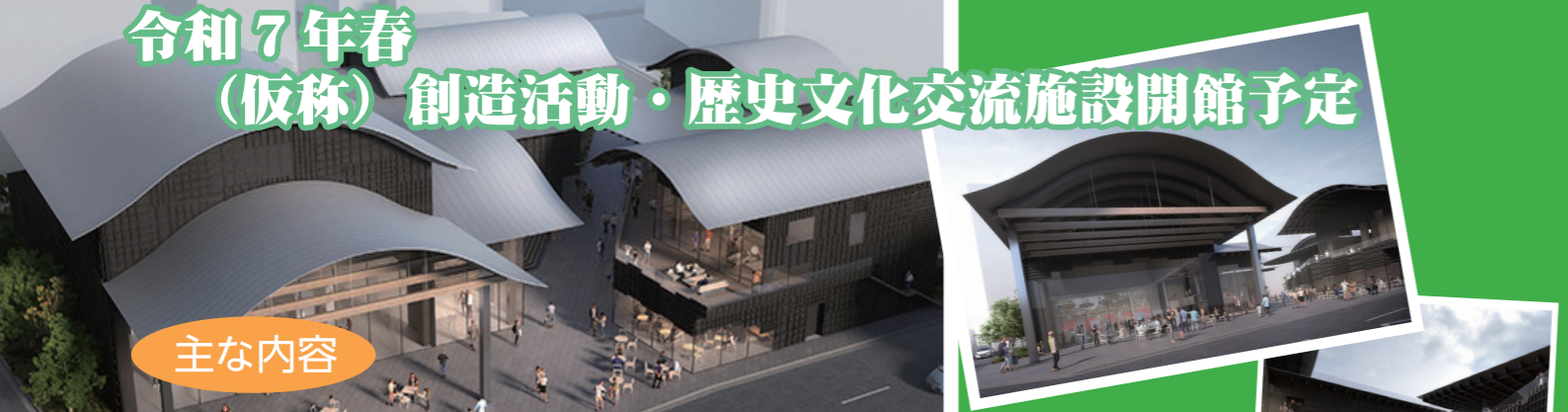
No.1227



ありがとう文化センター
～12月末で閉館します～

発行 ■ 東海市役所 (〒476-8601 愛知県東海市中央町二丁目1番地) 毎月1日・15日 編集 ■ 広報課

令和7年春 (仮称) 創造活動・歴史文化交流施設開館予定



主な内容

- 新型コロナウイルス感染症に関して・・・2～3
- 公表します 市の人事行政・・・9
- 年末年始の主な公共施設の業務案内・・・4～5
- 4年度上半期の気象測定結果・・・12～13
- 公表します 市の財政状況・・・6～8
- お知らせコーナー・・・18～23

コミュニティだより⑬ (最終回)

～みんなで地域の絆をつくろう～

6月1日号から各コミュニティを紹介してきました。今回は、コミュニティの将来に向けたモデル地区の取り組みを紹介します。

本市では、12のコミュニティがふれあい・交流、防災・防犯などの特色ある活動を展開しています。今後さらによりよい地域とするために、コミュニティを重要なパートナーとして新たな地域運営体制の構築に取り組んでいます。

今年度、モデル地区である緑陽、渡内、富木島ふれあい、加木屋の4つのコミュニティでは、コミュニティごとの実情に沿った取り組みを進めています。

緑陽コミュニティでは、さまざまな世代の方々が気軽集えるような地域活動拠点(緑陽コミュニティセンター)を整備しています。渡内、富木島ふれあい、加木屋の3つのコミュニティでは、地域の皆さんが中心となり、未来志向で「地域の将来像」の作成に向けて意見交換をしているところです。今後も魅力ある地域づくりに向けて、コミュニティと市が連携・協力していきます。

モデル地区における取り組み 緑陽



緑陽コミュニティセンター (イメージ図)

- ・ 令和5年4月開館予定
- ・ 地域課題の解決や多世代交流のため、緑陽市民館、緑陽児童館及び緑陽敬老の家の機能を一部集約化した地域活動拠点の整備を進めています。

詳しくは、市民協働課へ。

渡内、富木島ふれあい、加木屋



地域の将来像策定懇談会

- ・ 各地区内の皆さんが共感でき、わくわくして自分も参画したくなるような「地域の将来像」を、対話を通じて楽しみながらつくっています。興味・関心のある方の参加をお待ちしています。

世帯と人口

	12月1日現在	登録人口
人口	113,777人	(前月比 -26人)
男	59,271人	(前月比 -26人)
女	54,506人	(前月比 ±0人)
世帯数	51,562世帯	(寮は1人1世帯)
		(前月比 -10世帯)

新型コロナウイルス感染症対策の紹介

県では、一人ひとりにあわせて対策をサポートするためLINE公式アカウント「新型コロナウイルス対策パートナーサポート」による情報提供を行なっています。



昭和55年10月に開館した文化センターが、今月末をもって42年の歴史に幕を下ろします。ピアノなどの発表会や演劇、絵画・写真などの展示会、さまざまな教室が開かれ、多くの方に愛されてきました。建物はなくなりませんが、皆さんの心に思い出の場所の一つとして残ることができればうれしいです。長い間、ご利用いただきありがとうございました。

編集後記